

礼拝メッセージフィードバック

＜今日の聖書箇所は…＞

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合ひましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④互いの必要のために祈りましょう。

ディーゴ ガイド



2026.2.2-8

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合ひましょう。（1～3つ）
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

9:14 それから、ヨハネの弟子たちがイエスのところに来て、「私たちとパリサイ人はたびたび断食をしているのに、なぜあなたの弟子たちは断食をしないのですか」と言った。

9:15 イエスは彼らに言われた。「花婿に付き添う友人たちは、花婿と一緒にいる間、悲しむことができるでしょうか。しかし、彼らから花婿が取り去られる日が来ます。そのときには断食をします。

9:16 だれも、真新しい布切れで古い衣に継ぎを当てたりはしません。そんな継ぎ切れは衣を引き裂き、破れがもっとひどくなるからです。

9:17 また、人は新しいぶどう酒を古い皮袋に入れたりしません。そんなことをすれば皮袋は裂け、ぶどう酒が流れ出て、皮袋もだめになります。新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れます。そうすれば両方とも保てます。」

9:18 イエスがこれらのことを話しておられると、見よ、一人の会堂司が来てひれ伏し、「私の娘が今、死にました。でも、おいでになって娘の上に手を置いてやってください。そうすれば娘は生き返ります」と言った。

9:19 そこでイエスは立ち上がり、彼について行かれた。弟子たちも従った。

9:20 すると見よ。十二年の間長血をわずらっている女の人が、イエスのうしろから近づいて、その衣の房に触れた。

9:21 「この方の衣に触れさえすれば、私は救われる」と心のうちで考えたからである。

9:22 イエスは振り向いて、彼女を見て言われた。「娘よ、しっかりしなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」すると、その

時から彼女は癒やされた。

9:23 イエスは会堂司の家に着き、笛吹く者たちや騒いでいる群衆を見て、

9:24 「出て行きなさい。その少女は死んだのではなく、眠っているのです」と言われた。人々はイエスをあざ笑った。

9:25 群衆が外に出されると、イエスは中に入り、少女の手を取られた。すると少女は起き上がった。

9:26 この話はその地方全体に広まった。

イエス様が旧約の律法を超えた方であるということが、ここで明らかにされています。断食は苦しい修行のようなものでしたが、今やイエス様がおられるので、その必要はなく交わりを喜ぶ時がきました。もしも私たちが断食するなら、それは祈りを楽しむ時です。

このように新しい福音は、新しい皮袋のような価値観と生き方が伴わなくてはなりません。

会堂管理者の娘が死んだことは悲しみですが、イエス様はその途中に長血の女を癒やされました。肉体の死はもはや絶対的な絶望ではなく、永遠の命によって希望の入り口なのです。イエス様は長血という病の人にも同じように愛を願ってください。

死を希望の入り口としましょう。またどんな痛みをもイエス様は分かってくださいますから、イエス様に頼りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 3日 火曜

マタイ



9:27 イエスがそこから進んで行くと、目の見えない二人の人が、「ダビデの子よ、私たちをあわれんでください」と叫びながらついて来た。

9:28 イエスが家に入られると、その人たちがみもとに来了。イエスが、「わたしにそれができると信じるのか」と言われると、彼らは「はい、主よ」と言った。

9:29 そこでイエスは彼らの目にさわって、「あなたがたの信仰のとおりになれ」と言われた。

9:30 すると、彼らの目が開いた。イエスは彼らに厳しく命じて、「だれにも知られないように気をつけなさい」と言われた。

9:31 しかし、彼らは出て行って、その地方全体にイエスのことを言い広めた。

9:32 その人たちが出て行くと、見よ、人々はイエスのもとに、悪霊につかれて口のきけない人を連れて来た。

9:33 悪霊が追い出されると、口のきけない人がものを言うようになった。群衆は驚いて、「こんなことはイスラエルで、いまだかつて起こったことがない」と言った。

9:34 しかし、パリサイ人たちは、「彼は悪霊どものかしらによって悪霊どもを追い出しているのだ」と言った。

9:35 それからイエスは、すべての町や村を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病気、あらゆるわずらいを癒やされた。

9:36 また、群衆を見て深くあわれまれた。彼らが羊飼いのいない羊の群れのように、弱り果てて倒れていたからである。

9:37 そこでイエスは弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。

9:38 だから、収穫の主は、ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。」

マタイは10の奇跡を記録して、それが新約におけるモーセの奇跡であることを明らかにしました。(モーセは出エジプトのときに、エジプトに対して10の奇跡をもたらしました。)

その最後がこの奇跡であって、それは目が見えるようになったことでした。大切なのはこの点です。私たちの心の目が見えるようになり、神様の御心と真理が分かるようになることです。

私たちは主のみわざを期待して祈ります。時には超自然的な奇跡をも体験するでしょう。それは、私たちの目が見えるようになることであり、そこにみわざの目的があるのだと知しましょう。

ですから、主に願い祈っている人は、同時に主が何を教えようとしておられるかを求めましょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(気持や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？



4日 水曜

マタイ



10:1 イエスは十二弟子を呼んで、汚れた霊どもを制する権威をお授けになった。霊どもを追いつし、あらゆる病気、あらゆるわずらいを癒やすためであった。

10:2 十二使徒の名は次のとおりである。まず、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ、

10:3 ピリポとバルトロマイ、トマスと取税人マタイ、アルパヨの子ヤコブとタダイ、

10:4 熱心党のシモンと、イエスを裏切ったイスカリオテのユダである。

10:5 イエスはこの十二人を遣わす際、彼らにこう命じられた。「異邦人の道に行つてはいけません。また、サマリア人の町に入つてはいけません。

10:6 むしろ、イスラエルの家の失われた羊たちのところに行きなさい。

10:7 行つて、『天の御国が近づいた』と宣べ伝えなさい。

10:8 病人を癒やし、死人を生き返らせ、ツアラアトに冒された者をきよめ、悪霊どもを追いつしなさい。あなたがたはただで受けたのですから、ただで与えなさい。

10:9 胴巻に金貨も銀貨も銅貨も入れて行つてはいけません。

10:10 袋も二枚目の下着も履き物も杖も持たずに、旅に出なさい。働く者が食べ物を得るのは当然だからです。

10:11 どの町や村に入つても、そこでだれがふさわしい人かをよく調べ、そこを立ち去るまで、その人のところにとどまりなさい。

10:12 その家に入るときには、平安を祈るあいさつをしなさい。

10:13 その家がそれにふさわしければ、あなたがたの祈る平安がその家に来るようにし、ふさわしくなければ、その平安があなたがたのところに返つて来るようにしなさい。

10:14 だれかがあなたがたを受け入れず、あなたがたのことばに耳を傾けないなら、その家や町を出て行くときに足のちりを払い落とすなさい。

10:15 まことに、あなたがたに言います。さばきの日には、ソドムとゴモラの地のほうが、その町よりもさばきに耐えやすいのです。

イエス様が弟子を任命した記事です。それは信徒の間に上下関係をつくるためではなく、主のみわざをなす権威を授けて、宣教をするためでした。今日の教会でも同じです。教会に役割があり、指導的な人があるのは、上下関係のためではありません。ただ主のみざわを行うためです。それにふさわしい者となります。

持ち物を最小にするのは、主に頼るためです。ということは、自分自身が武装されていなくても、その点で十分と思えなくても、主がおられるので宣べ伝えましょう。一番大切な武装は、主に頼るという信仰です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



5日 木曜

マタイ



10:16 いいですか。わたしは狼の中に羊を送り出すようにして、あなたがたを遣わします。ですから、蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい。

10:17 人々には用心しなさい。彼らはあなたがたを地方法院に引き渡し、会堂でむち打ちます。

10:18 また、あなたがたは、わたしのために総督たちや王たちの前に連れて行かれ、彼らと異邦人に証しをすることになります。

10:19 人々があなたがたを引き渡したとき、何をどう話そうかと心配しなくてもよいのです。話すことは、そのとき与えられるからです。

10:20 話すのはあなたがたではなく、あなたがたのうちにあって話される、あなたがたの父の御霊です。

10:21 兄弟は兄弟を、父は子を死に渡し、子どもたちは両親に逆らって立ち、死に至らせます。

10:22 また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。

10:23 一つの町で人々があなたがたを迫害するなら、別の町へ逃げなさい。まことに、あなたがたに言います。人の子が来るときまでに、あなたがたがイスラエルの町々を巡り終えることは、決してありません。

10:24 弟子は師以上の者ではなく、しもべも主人以上の者ではありません。

10:25 弟子は師のように、しもべは主人のようになれば十分です。家の主人がベルゼブルと呼ばれるくらいなら、ましてその家の者た

ちは、どれほどひどい呼び方をされるでしようか。

10:26 ですから彼らを恐れてはいけません。おおわれているもので現されないものではなく、隠されているもので知られずにすむものはないからです。

10:27 わたしが暗闇であなたがたに言うことを、明るみで言いなさい。あなたがたが耳もとで聞いたことを、屋上で言い広めなさい。

10:28 からだを殺しても、たましいを殺せない者たちを恐れてはいけません。むしろ、たましいもからだもゲヘナで滅ぼすことができる方を恐れなさい。

10:29 二羽の雀は一アサリオンで売られているではありませんか。そんな雀の一羽でさえ、あなたがたの父の許しなしに地に落ちることはありません。

10:30 あなたがたの髪の毛さえも、すべて数えられています。

10:31 ですから恐れてはいけません。あなたがたは多くの雀よりも価値があるのです。

10:32 ですから、だれでも人々の前でわたしを認めるなら、わたしも、天におられるわたしの父の前でその人を認めます。

10:33 しかし、人々の前でわたしを知らないと言う者は、わたしも、天におられるわたしの父の前で、その人を知らないと言います。

この世に出てゆく弟子たちに、主イエスが心構えを語っておられます。それはそのまま私たちに語られているものです。用心すること、しかし心配する必要はないことです。私たちは師であるイエス様を超える必要はないのですから、弱いままでも十分であるということです。

ただ、人前で主イエスを認めることは求められています。そのような人を、主も「父の前でその人を認めます。」と約束しておられます。どんなことにこの心構えを適用できるでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 金曜

マタイ



10:34 わたしが来たのは地上に平和をもたらすためだ、と思ってはいけません。わたしは、平和ではなく剣をもたらすために来まし
た。

10:35 わたしは、人をその父に、娘をその母に、嫁をその姑に逆らわせるために来たので
す。

10:36 そのようにして家の者たちがその人の敵となるのです。

10:37 わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。

10:38 自分の十字架を負ってわたしに従って来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。

10:39 自分のいのちを得る者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失う者は、それを得るのです。

10:40 あなたがたを受け入れる人は、わたしを受け入れるのです。また、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのです。

10:41 預言者を預言者だからということで受け入れる人は、預言者の報いを受けます。また、義人を義人だからということで受け入れる人は、義人の報いを受けま
す。

10:42 まことに、あなたがたに言います。わたしの弟子だからということで、この小さい者たちの一人に一杯の冷たい水でも飲ませる人は、決して報いを失うことがありません。」

重要さんについて語られています。それは地上の平和よりも、肉親の情よりも重要だということです。どちらも大切であることには違いないのですが、永遠の救いはそれらよりも重要です。

また本当に主によって与えられる平和な関係でなければ、この世の平和は不安定であって、単に利害が一致しているに過ぎない場合もあります。何よりも完全な愛によらないなら、状況しだいでは骨肉の争いにもなるのです。

ならばそのような不安定なものを最優先にするあまり、神様の平和、また完全な愛を失ってしまっては本末転倒になってしまうということです。イエス様を愛する者は、本当の愛で家族を愛する
ことのできる者となるのです。

いのちもまた同じで、肉の命が大切だからと言って、永遠の命をないがしろにするなら、それは本末転倒です。イエス様を第一に愛して、その健全な信仰によって、家族をまた自分自身の人生を愛しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11:1 イエスは十二弟子に対する指示を終えると、町々で教え、宣べ伝えるために、そこを立ち去られた。

11:2 さて、牢獄でキリストのみわざについて聞いたヨハネは、自分の弟子たちを通じて

11:3 イエスにこう言い送った。「おいでになるはずの方はあなたですか。それとも、別の方を待つべきでしょうか。」

11:4 イエスは彼らに答えられた。「あなたがたは行って、自分たちが見たり聞いたりしていることをヨハネに伝えなさい。

11:5 目の見えない者たちが見、足の不自由な者たちが歩き、ツァラアトに冒された者たちがきよめられ、耳の聞こえない者たちが聞き、死人たちが生き返り、貧しい者たちに福音が伝えられています。

11:6 だれでも、わたしにつまずかない者は幸いです。」

11:7 この人たちが行ってしまうと、イエスはヨハネについて群衆に話し始められた。

「あなたがたは何を見に荒野に出て行ったのですか。風に揺れる葦ですか。

11:8 そうでなければ、何を見に行ったのですか。柔らかな衣をまとった人ですか。ご覧なさい。柔らかな衣を着た人なら王の宮殿にいます。

11:9 そうでなければ、何を見に行ったのですか。預言者ですか。そうです。わたしはあなたがたに言います。預言者よりもすぐれた者を見に行ったのです。

11:10 この人こそ、『見よ、わたしはわたしの使いをあなたの前に遣わす。彼は、あなたの前あなたにあなたの道を備える』と書かれている

その人です。

11:11 まことに、あなたがたに言います。女から生まれた者の中で、バプテスマのヨハネより偉大な者は現れませんでした。しかし、天の御国で一番小さい者でさえ、彼より偉大です。

11:12 バプテスマのヨハネの日から今に至るまで、天の御国は激しく攻められています。そして、激しく攻める者たちがそれを奪い取っています。

11:13 すべての預言者たちと律法が預言したのは、ヨハネの時まででした。

11:14 あなたがたに受け入れる思いがあるなら、この人こそ来たるべきエリヤなのです。

11:15 耳のある者は聞きなさい。

11:16 この時代は何にたとえたらよいでしょうか。広場に座って、ほかの子どもたちにくらべている子どもたちのようです。

11:17 『笛を吹いてあげたのに君たちは踊らなかった。吊いの歌を歌ってあげたのに胸をたたいて悲しまなかった。』

11:18 ヨハネが来て、食べもせず飲みもしないでいると、『この人は悪霊につかわれている』と人々は言い、

11:19 人の子が来て食べたり飲んだりしていると、『見る、大食いの大酒飲み、取税人や罪人の仲間だ』と言うのです。しかし、知恵が正しいことはその行いが証明します。」

バプテスマのヨハネはイエス様への信仰の道備えをするために神様から遣わされた器です。悔い改めのバプテスマを授けつつ、イエス様は自分よりもすぐれたお方であると証したのです。さらには、この方が預言に約束された救い主であるのかどうかを確認するために、使いをよこしました。

イエス様はご自分のみわざを示して、それが旧約に預言された救い主と同じであることを暗示なさいました。ヨハネにはそれが分かるからでしょう。イエス様もまたヨハネがこの時代のエリヤであることを示され、すべてが預言の通りであることを明示なさったのです。

このようにイエス様とその周囲の人々の出来事は明らかに旧約において預言されたものです。しかし、それでも信じない者は反応しなかったり、批判したりしました。私たちは、この救い主への信頼をますます強めていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11:20 それからイエスは、ご自分が力あるわざを数多く行った町々を責め始められた。彼らが悔い改めなかったからである。

11:21 「ああ、コラジン。ああ、ベツサイダ。おまえたちの間で行われた力あるわざが、ツロとシドンで行われていたら、彼らはとうの昔に粗布をまとい、灰をかぶって悔い改めていたことだろう。

11:22 おまえたちに言う。さばきの日には、ツロとシドンのほうが、おまえたちよりもさばきに耐えやすいのだ。

11:23 カペナウム、おまえが天に上げられることがあるうか。よみにまで落とされるのだ。おまえのうちで行われた力あるわざがソドムで行われていたら、ソドムは今日まで残っていたことだろう。

11:24 おまえたちに言う。さばきの日には、ソドムの地のほうが、おまえよりもさばきに耐えやすいのだ。」

11:25 そのとき、イエスはこう言われた。「天地の主であられる父よ、あなたをほめたたえます。あなたはこれらのことを、知恵ある者や賢い者には隠して、幼子たちに現してくださいました。

11:26 そうです、父よ、これはみこころになったことでした。

11:27 すべてのことが、わたしの父からわたしに渡されています。父のほかに子を知っている者はなく、子と、子が父を現そうと心に定めた者のほかに、父を知っている者はだれもいません。

11:28 すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもて来なさい。わたしがあな

たがたを休ませてあげます。

11:29 わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。

11:30 わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」

コラジン、ベツサイダ、カペナウムの人々が悔い改めもなく信仰もないので、それをイエス様は責められました。ツロ、シドン、ソドムも罪の町でしたが、直接イエス様のみわざを見たのではありませんし、教えを聞いたのわけではありません。

見ていながら、知っていながら信じないのは、やはり責められるのです。私たちも、”分かっている、知っている”だけで終わらせないで、信じて従うものとなりましょう。

その点、「幼子」のような心の持ち主は、主に喜ばれます。どういう人かといえますと、それは自分の弱さを取り繕わない人です。また自分を立派に見せるよりも、頼る人であって、正しい生き方は神様に頼るということです。

ですから幼子のように、「疲れている」「重荷を負っている」と正直に認めて、イエス様のもとにいきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いな

ど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

